

第4回

美里ヒルズ いきいきセミナーシリーズ

老いと演劇ワークショップ

OiBokkeShi×三重県文化会館「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクト

演劇体験を通じて楽しみながら認知症の人とのコミュニケーションを考えるワークショップ

事前予約制

体験30名

見学20名

[日時] ▶▶▶ 2019年9月22日(日)
14:00～16:00

[会場] ▶▶▶ デイサービスセンター美里ヒルズ
(三重県津市美里町三郷430番地)

[会場] ▶▶▶ 500円

● 老いと遊び ～老いを受け入れるヒントは“遊び”にある～

介護現場で実践されている演劇的手法「遊びリテーション」を体験。身体を使って他者とコミュニケーションを取る喜びは、演劇の原点。「できる」「できない」にこだわらず、「いまここ」を楽しむ遊びの価値観を介護現場に持ち込みましょう。

● 認知症ケアと演技 ～ぼけを“演技”で自然に受け止めよう～

介護職員の食事の声かけに対して、食事に行きたがらずに「田植えに行く」と答えるおばあさん。介護職員と認知症の人を交互に演じて、否定されたときの認知症の人の気持ちや、認知症の人のぼけを受け入れるコミュニケーションを疑似体験。認知症の中核症状や、BPSD(行動・心理症状)が生じるメカニズムについて、わかりやすく解説します。



菅原直樹氏 (「老いと演劇」OiBokkeShi主宰／俳優、介護福祉士)

平田オリザ氏が主宰する青年団に俳優として所属。2012年より、家族と共に岡山に移住。介護と演劇の相性の良さを実感し、地域における介護と演劇のあり方を模索している。

OiBokkeShiの活動に密着したドキュメンタリー番組「よみちにひはくれない～若き“俳優介護士”の挑戦～」(岡山放送OHK)が第24回FNSドキュメンタリー大賞で優秀賞を受賞。

OiBokkeShi×三重県文化会館による3年間の「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクトが進行中。2019年3月、平成30年度(第69回)芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

お申込みは
お電話かメールで

TEL 059-279-5100

MAIL info@misatohills.jp

主催：特別養護老人ホーム美里ヒルズ